

低炭素、健康維持増進、知的生産性を向上する建築への期待



愛媛・伊予市立翠小学校の木造エコ改修（09年改修）



高知・梼原町総合庁舎（06年竣工、CASBEE Sランク認証）

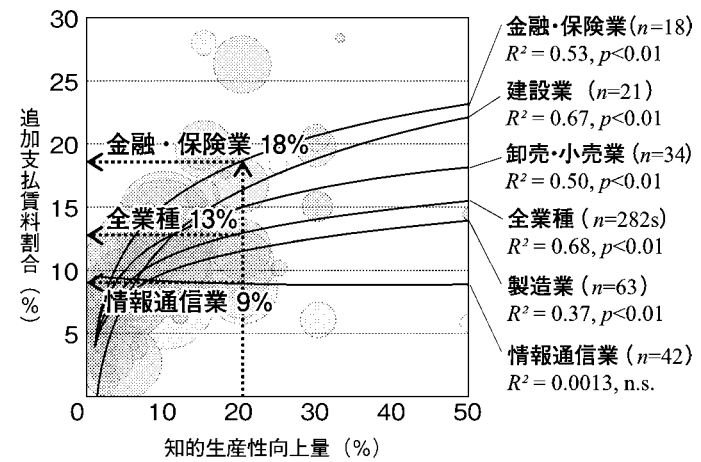


図2 知的生産性向上に見合うオフィス賃料の追加支払意思額

国土交通省の健康維持増進住宅研究会（村上周三委員長）の成果の一部として、居住者に気付きを与えるための建築環境総合性能評価システム（CASBEE）健康チェックリスト（建築環境・省エネルギー機構ウェブサイトで参照）が公開され、居住者の健康状態との関係も検証されている。また、住宅の断熱性能に着目した研究成果としては、全国1万軒の調査に基づき、断熱性能の良い住宅に住み替えた居住者の各種疾病にかかっている人の割合が改善されること、またそれによって医療費と休業損失が軽減される経済価値を示している（図1）。

CASBEEの室内環境Q1、サービス性能Q2、敷地内環境Q3の評価基準の一部に、現状のCASBEEには含まれていない打ち合わせスペース、食堂、カフェ、移動空間、エントランスロビーなどの建築空間評価を追加した合計20の評価項目を選定した。オフィスビル勤務者（有効回答417人）を対象としたインターネットアンケートによって、現在勤務するオフィスの評価と、20の評価項目すべてが最高の評価項目すべてが最高のレベル5段階評価の5である理想のオフィスに移転した場合における知的生産性を測る四つの中間指標（作業効率、知識創造、社員意欲、人材確保）の向上量を推計する。

知的生産性向上にも寄与 オフィス空室率改善へ

建設産業

人がつくる。人でつくる。

ここで過ごす人々の姿を、
ここからはじまるしあわせをイメージしながら。

アイデアでつくろう。情熱でつくろう。
さまざまな人の想いをつないでつくろう。
アタマとココロを使って
人間にしかできないものづくりを目指して。

人がつくる。人でつくる。
それが戸田建設のやりかたです。

 戸田建設



健康維持増進に寄与 全国1万軒調査で検証

国土交通省の健康維持増進住宅研究会（村上周三委員長）の成果の一部として、居住者に気付きを与えるための建築環境総合性能評価システム（CASBEE）健康チェックリスト（建築環境・省エネルギー機構ウェブサイトで参照）が公開され、居住者の健康状態との関係も検証されている。また、住宅の断熱性能に着目した研究成果としては、全国1万軒の調査に基づき、断熱性能の良い住宅に住み替えた居住者の各種疾病にかかっている人の割合が改善されること、またそれによって医療費と休業損失が軽減される経済価値を示している（図1）。

「見える化」は、低炭素化の推進に有効である。また、医学と建築学の連携で健康・省エネ住宅を推進する国民会議（上原裕之議長）の呼びかけに応える形で、産官学による「こつち健康・省エネ住宅推進協議会」が、健康・省エネ住宅が地域活性化の核となる取り組みが本格化してきた。

究極の低炭素建築 —LCCM住宅

ライフサイクルカーボンマイナス（LCCM）の支援のもとに、LCCM住宅は、建築資材製造から建設、居住、改修、廃棄時における徹底した省二酸化炭素（CO₂）の取り組み、太陽光発電、木質バイオマスなどの再生可能エネルギー利用によって、住宅のライフサイクルにおけるCO₂収支をマイナスにする

住宅である。国土交通省の支援のもとに、LCCM住宅は、建築資材製造から建設、居住、改修、廃棄時における徹底した省二酸化炭素（CO₂）の取り組み、太陽光発電、木質バイオマスなどの再生可能エネルギー利用によって、住宅のライフサイクルにおけるCO₂収支をマイナスにする



高知・梼原町健康・環境モデル住宅（10年竣工）

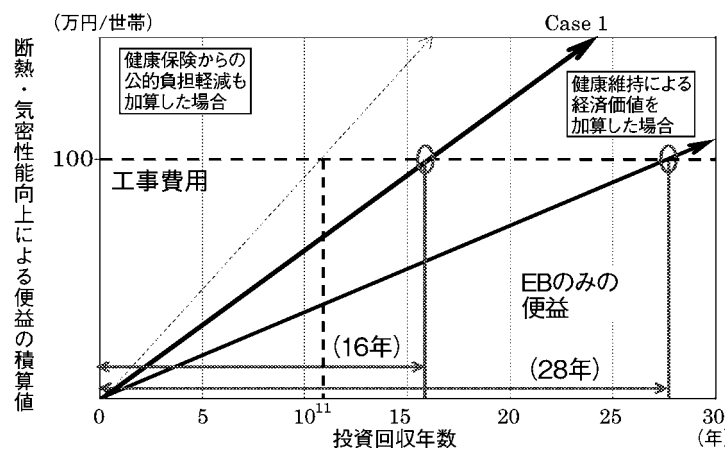
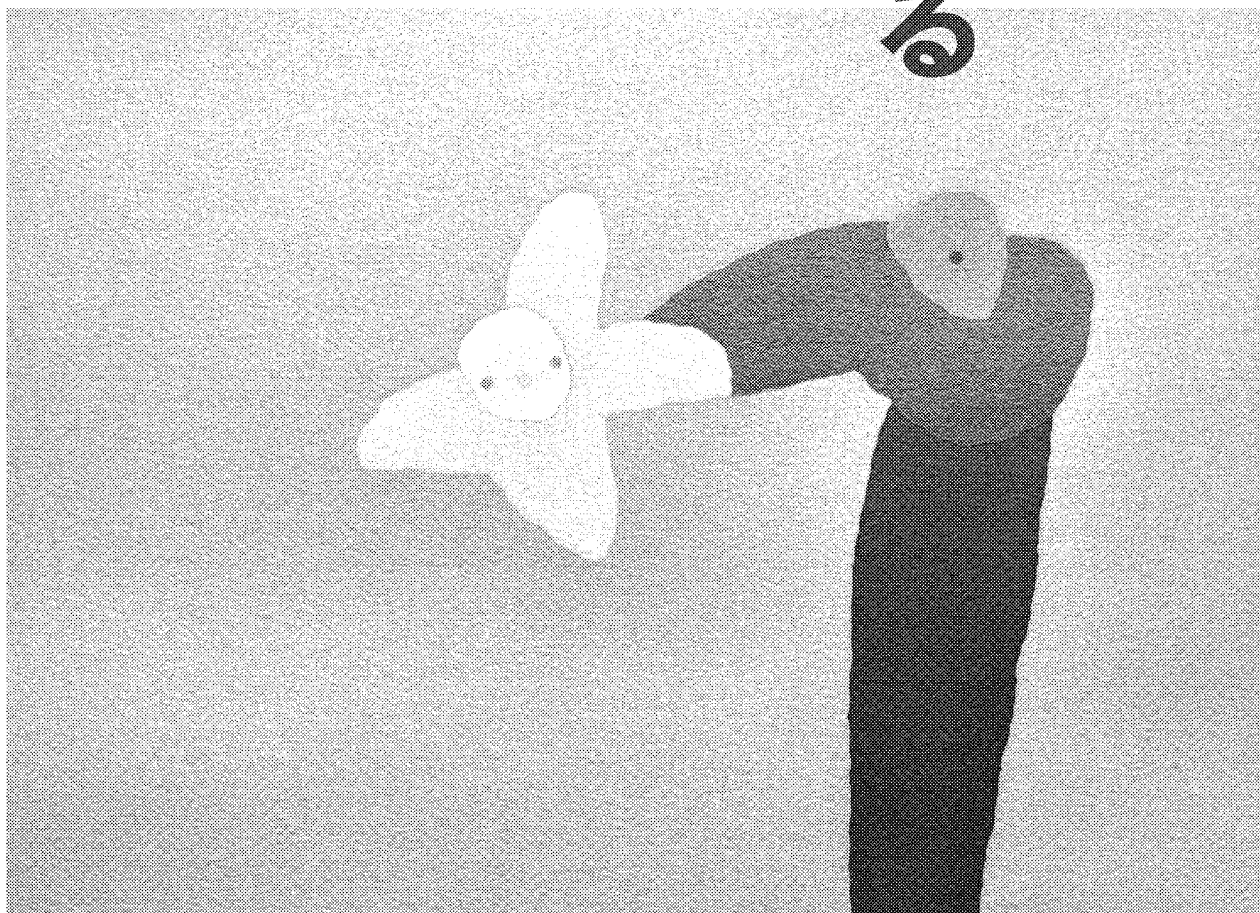


図1 住宅の断熱性能向上がもたらす健康維持増進便益

TAKENAKA

守る、創る、思いやる、ビルへ。



野坂徹夫：画

災害から人々の暮らしを守る。
エネルギーを創り、分けあう。
都市を、そして地球を思いやる。
これからのビルはこうじゃないとね。

想いをかたちに

 竹中工務店